

雪景色とインフルエンザ



1月24日(日)から25日(月)にかけての寒さと雪はすごかったですね。月曜日、学校は休校になりました。通勤途中の車の外気温は-6.5度 熊本でこんな気温があるのか!と疑ってしまう程の気温でした。数日後は10度を超える日もありましたので、まさに気温差は20度近くにもなるという1週間でした。その寒さが影響したのか1月29日(金)からインフルエンザによるお休みが出始め、土日明けの2月1日(月)には一気に増え、3年生では学級閉鎖の措置をとりました。給食も各教室で食べるなどの対応を今も続けています。感染拡大もそれほどなく登校している子どもたちは、朝からランニングも頑張っています。もちろん昼休みに外で元気に遊ぶ姿もたくさん見られます。また、数日ぶりに登校した子の「ああ学校来たかったあ!」の言葉、お友達の登校を待っていた子どもたちは、わざわざ学年を超えて教室に会いに行く場面など、なんともほほえましい光景も見られています。

立春を過ぎたとはいえ、まだまだ寒さも続きそうです。子どもたちも保護者の皆さんもしっかり予防し、この冬を乗り切りましょう。



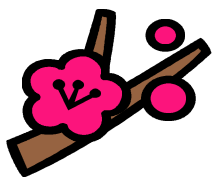
人権について考えるpart2

ある雑誌にこんな記事がありました。タイトルはく【不機嫌な教室】統計と理論で読み解く「いじめ対策」 荻上千基 氏です。

多くの子どもは、いじめが「悪いことである」ことを知っています。いじめが悪だと分かっているが、「あの先生の授業中ならセーフだろう」「あいつ相手ならセーフだろう」「誰も見ていないならセーフだろう」「楽しいからセーフだろう」「みんなやっているからセーフだろう」といった特定条件下では、集団の理屈によって暴力や陰口が「セーフ」なものとされてしまう。・・・中略・・・「いじめ」という括りにせず、仲間はずれ、無視、陰口といった行為に着目すれば、小学4年生から中学3年生の6年間で9割の児童が加害も被害も体験しています(日本教育政策研究所調査)つまり学校には「いじめ未達のトラブル」は蔓延しているわけです。他方で、それらが継続的に特定の児童に向けられ、当人がストレスを感じることで、いじめとしてエスカレートしていくという構図も見逃せません・・・中略・・・学校内での些細なトラブルは誰にでも起こりうる。しかし、些細なトラブルが放置されると、それがエスカレートし、どんどんいじめが成長していく。いじめは、環境によって育てられる生き物です。・・・後略・・・

まさにその通りだと思います。だから私たち大人がすべきことは何か、子どもに伝えるべきことは何かをしっかりと考えていかなければと思います。

心のアンケートの結果、本校でも「いじめられたことがある」と答えた子どもがいました。もちろん詳細を確認し、担任とじっくり話をしています。全て「現在は続いていない」とのことですが、日々アンテナを高くし、毎月末のアンケートはもちろん、全職員で全児童一人一人の様子をしっかりと見て声かけしていきたいと思っています。



相手のいたみを考えていたら
自然とやさしい心になれる。

～平成26年度 熊本県
人権メッセージ作品集より～



2月27日(土)は、今年度最後の授業参観、PTA総会、学級懇談です。たくさんのお越しをお待ちしております。尚、スケート教室は、3月4日(金)卒業式は3月24日(木)、修了式は3月25日(金)です。



河原小だより

2月

NO.8
H28.2.5

西原村立河原小学校
文責: 草場ルミ子

校長室の窓から

河原小の校歌は、♪阿蘇の空 今朝もさわやか 高畑の山が遠くにか
すんでる♪の歌詞で始まります。河原小からは高畑山は見えませんが、
私は毎朝高畑山を見ながら通勤します。十二月から一月頃は、高畑山か
ら朝日が昇ります。とても神々しく感動します。新川教頭先生も、毎朝、
秋田橋のところで交通指導をしながら、高畑山を眺めるそうです。校歌の
続きは、♪ぼくたちは希望の子ども 日本若き生命だ 瞳をあげて
さあ瞳をあげて 学ぼうよ 河原 河原小学校♪と続きます。子ども
たちもこの高畑山を仰ぎ見て、校歌の歌詞をかみしめて過ごしてほしいな
あと思います。